



体育祭での3年生のむかでリレー

西陵中学校では、学校行事や生徒会活動を通して、生徒たちが社会性を身に付けるようにしています。

前期メイン行事の体育祭では、生徒たちは紅白の団に分かれ、応援や競技を行う中で、上級生が下級生に働き掛けたり、仲間とともに頑張る中で仲間とのきずなを強め、学級の和や学年を超えての交流ができました。

後期の大きな行事は合唱祭です。学級・学年の仲間が真剣に声を出し合い、全員の声が響き合ったときの充実感、仲間と一緒に取り組んできた喜びを覚えます。

今年の合唱祭は1月に予定しています。合唱活動は、4月の新入生歓迎会より在校生が体育館に響く歌声で新入生を迎え入れ、合唱の素晴らしさを伝え「西陵中の伝統」として

『地域社会の中で』…西陵中学校では、生徒たちが地域のさまざまな行事にボランティアとして参加し、社会貢献に努めています。妻木町・下石町の町民運動会、夏祭り、文化祭、またウエルフェア土岐での福祉活動など。昨年は112人がボランティア登録し、延べ196人の生徒たちが自主的に地域に出掛け、地域の方たちと一緒に活動盛り上げました。

今年度も多くの生徒たちが地域ボランティアに参加し、地域の方からも、こうした西陵中の生徒の活動は大変歓迎されています。



妻木町夏祭りでのボランティア活動

意識されるようになっていきます。

また、生徒会活動は、合唱活動のほかに日常のあいさつ活動や清掃活動を活動の重点として全校で取り組んでいます。

しょうぼう 119

- 住宅火災から大切な生命を守るために、
- 住宅用火災警報器を設置してください ●

消防本部 ・ ☎ 530123

消火器の破裂事故にご注意ください!

最近、全国各地で消火器による死傷事故が発生しています。

古くなった消火器、特にさび、傷、変形のあるものを使用すると事故の恐れがあります。絶対に使用しないでください。

■なぜ、破裂するのか

消火器内部には圧縮された二酸化炭素ボンベが内蔵されています。消火器のレバーを握るとボンベが破られ、本体容器の内部に二酸化炭素が充満し、その圧力で薬剤が放出されます。その時、消火器本体に腐食や変形があると、その部分が圧力に耐えられなくなり、破裂が起こります。

◆破裂の恐れがある消火器

- 製造後8年以上経過している
(消火器交換の目安は約8年です)
- キャップや底部がさび付いている
- 本体にへこみや変形がある
- ◆消火器を設置してはならない場所
- 湿気の多い場所
(さびが発生しやすくなります)
- 直射日光のあたる場所
(容器の酸化を進めます)
- 温度変化の大きい場所
(腐食を早める場合があります)



〈さび付き〉



〈へこみ〉

【 廃棄処分をする場合は家庭で処分せず、専門の業者に依頼してください。 】